

学術情報基盤のご紹介

「研究」と「事業」の両輪体制

国立情報学研究所は、「研究」の他、大学共同利用機関として高等教育機関並びに研究機関に対し、学術コミュニティの構築・推進に不可欠な「事業」を行っています。この「事業」を行っている点が、他の機関と大きく異なりかつNIIを特徴的な組織としているところです。2000(平成12)年の創設以来、この「事業」は、開発・事業部、そしてそれを改組発展させた学術基盤推進部によって、一貫して推進しています。

学術情報ネットワーク事業の一例

- **学術認証基盤**
<学認・UPKI電子証明書発行サービス・eduroam JP>
- パイロットプロジェクト「UPKI(全国大学共同電子認証基盤)」は2005(平成17)年開始
- **HPCI・クラウド基盤**
<HPCI(革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ)、学認クラウド>
- ネットワークと認証の機関としてHPCIに参加、スパコン利用環境の基盤を提供
- 大学がクラウド事業者をより安心・安全・便利に使えるSINET直接接続や学認クラウドを提供
- **情報セキュリティ基盤**
<NII-SOCS(大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築)、高等教育機関における情報セキュリティポリシー策定>
- 「高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集」を2007(平成19)年公開

代表的な学術情報基盤

- 日本の学術基盤の基礎を支える情報インフラとしての学術情報ネットワーク事業、「**学術情報ネットワーク(SINET)**」(1989年から一貫して運用中)
- そのネットワークを使用した学術コンテンツ事業、「**目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)**」(1985年から一貫して運用中)

学術コンテンツ事業の一例

- **学術論文を中心とした検索・アクセス支援**
<CiNii(学術情報ナビゲータ)>
- NII学術コンテンツ・ポータル(GeNii)の一つ「CiNii(現CiNii Articles)」として2004(平成16)年開始
- **研究成果と研究者に関する情報の整備**
<KAKEN(科学研究費助成事業データベース)、NII-DBR(学術研究データベース・リポジトリ)>
- 情報検索サービス(NACSIS-IR)の一つ「科学研究費補助金研究成果概要データベース」として1987(昭和62)年開始
- **機関リポジトリの構築支援**
<学術機関リポジトリ構築連携支援事業、JAIRO Cloud(共用リポジトリサービス)>
- パイロットプロジェクト「機関リポジトリ構築ソフトウェア導入実証実験共同プロジェクト」を2004(平成16)年開始
- **オープンサイエンス支援**
<GakuNin RDM(管理基盤)、WEKO3(公開基盤)、CiNii Research(検索基盤)>
- 2017(平成29)年創設のオープンサイエンス基盤研究センターにて現在進行中